近現代詩（およぐひと）　＊＊

次の詩を読んで、後の問いに答えなさい。［50点］

およぐひとのからだはななめにのびる、
二本の手はながくそろへてひきのばされる、
およぐひとの[A]心臓[/A]は[B]くらげのやうにすきとほる[/B]、
およぐひとの[C]瞳[/C]はつりがねのひびきをききつつ、
[D]およぐひとのたましひは水のうへの月をみる。[/D]

問一　最初の二行は何を表現しているか。答えなさい。

問二　傍線部**A**「心臓」を「こころ」と読ませることにより、作者はどのようなことを表現しようとしたのか。答えなさい。

問三　傍線部**B**「くらげのやうにすきとほる」について、次の各問いに答えなさい。

1　ここで使われている表現技法を、次の**ア**～**オ**の中から選び、記号で答えなさい。

ア　擬人法　　**イ**　倒置　　**ウ**　体言止め　　**エ**　直喩　　**オ**　省略法

2　この表現技法を使うことによって、どのような効果をもたらしたと言えるか。答えなさい。

問四　傍線部**C**「瞳」を「め」と読ませることにより、作者はどのようなことを表現しようとしたのか。答えなさい。

問五　傍線部**D**「およぐひとのたましひは水のうへの月をみる」について、次の各問いに答えなさい。

1　ここで「たましひ」とは何を示していると考えるか。次の**ア**～**オ**の中から選び、記号で答えなさい。

ア　心の内部からの質問
イ　心の内部からの視線
ウ　心の内部からの声
エ　外部に現れた自我
オ　泳ぐ人の闘争心

2　「水のうへの月」とは水面に映る月のことを表しているが、ここで「水のうへの月」とした意図を説明しなさい。

問六　この詩のひらがな表記の効果について説明しなさい。

問七　この詩の主題について、次の各問いに答えなさい。

1　「およぐひと」の何を象徴したものか。漢字二字で答えなさい。

2　その漢字も用いて、主題についてまとめなさい。

問八　この詩の作者である萩原朔太郎の代表的な詩集を、次の**ア**～**オ**の中から選び、記号で答えなさい。

ア　「山羊の歌」　　**イ**　「月に吠える」　　**ウ**　「春と修羅」　　**エ**　「暁と夕の詩」　　**オ**　「道程」

問 八	問 七		問 六	問 五		問 四	問 三		問 二	問 一
	2	1		2	1		2	1		

学 年
組
番 号
氏 名
得 点

近現代詩（およぐひと）　＊＊

〔出題の意図と留意点〕　問一、イメージの確認。問二、表現意図の理解。問三、１　表現技法の確認。２　表現技法についての理解確認。問四、表現意図の理解。問五、１　内容の理解。２　表現意図の理解。問六、表記についての理解の確認。問七、１　内容の理解。２　主題の確認。問八、作者についての基礎知識の確認。

☆解答例と配点

問一　泳ぐ人間の姿　〈５点〉

問二　単に臓器としての心臓ではなく、精神を表現しようとした。　〈５点〉

問三　１　エ　〈３点〉
２　およぐひとの体全体が水と同化するような感覚になり、心臓もくらげ同様に透きとおったように感じられる。　〈５点〉

問四　「つりがねのひびき」を聞くという、通常の感覚を超えた、音をまるで見るかのように感じとる様を表現した。　〈５点〉

問五　１　イ　〈３点〉
２　実体でない幻像の月にすることで、心に映る世界であることを暗示する。　〈５点〉

問六　意味と音とが一体化した漢字を避けることで、詩に日常の意味性と異なる感覚が含まれる。　〈５点〉

問七　１　感覚　〈５点〉
２　水の中を泳いでいる時の感覚を象徴的に表現しようとした。　〈５点〉

問八　**イ**　〈４点〉

計50点